

小中一貫教育校 大泉桜学園の取組

施設一体型小中一貫教育校 大泉桜学園では、第1学年から第9学年（第3学年）までの9年間を見通した教育を行っています。

発達段階に応じて、第1～4学年をⅠ期、第5～7学年をⅡ期、第8・9学年をⅢ期としています。第5・6学年では、第7～9学年と同じ西校舎で50分授業を実施したり、社会や理科等で教科担任制による授業を行ったりするなど、指導体制を工夫しています。また、第4学年がⅠ期のリーダーとして縦割り遠足や委員会活動で活躍してい



第1学年、第7学年合同の入学式

ます。さらに、学校行事を通じた異学年交流を充実させています。入学式は第1・7学年合同で、卒業式は第6・9学年合同で行っています。運動会や桜祭（音楽会）などの行事は、9学年合同で行っています。また、部活動や児童生徒会活動には、第5～9学年が一緒に取り組んでいます。

平成29・30年度には、小中一貫教育研究校として練馬区の指定を受け、児童生徒が自ら学びを進め、高め合う小中一貫教育の在り方について研究を深めました。今後も研究を進めていきます。



第5～7学年の期別朝礼

小中一貫教育に関するQ&A

Q1 小中一貫教育を実践している小学校に入学すると、小中一貫教育グループの中学校に進学しなければならないのですか。

A1 通学区域の指定や学校選択制の利用により、小中一貫教育グループ以外の中学校にも進学することができます。

Q2 どの小中一貫教育グループでも同じような小中一貫教育を行うのでしょうか。

A2 それぞれの小中一貫教育グループが、中学校区の特色や実態、課題を踏まえた学習指導の改善や生活指導の充実を図っており、一様の取組を行っているわけではありません。

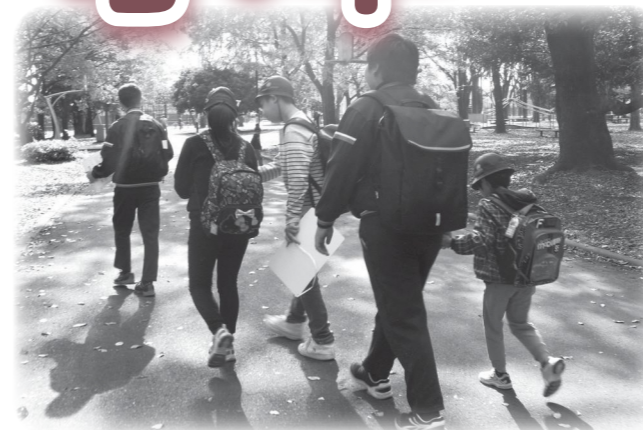
Q3 一つの小学校からいろいろな中学校へ進学する状況で、どのように小中一貫教育に取り組むのですか。

A3 小中一貫教育を進めるために、中学校1校と近隣の小学校1～3校で研究グループをつくり、平成28年度までに全中学校区で2年間の研究に取り組んできました。3年目以降は小中一貫教育実践校として取組を継続しています。9年間を見通した視点でカリキュラムを作成したり、小学生と中学生が交流したりして、どの小学校からどの中学校へ進学しても安定した学校生活が送れるよう、進学先にかかわらず、小・中学校の接続に重点を置いた教育活動を実践しています。また、知的障害特別支援学級では、設置校である小学校と中学校を四つのブロックに分けて研究や実践を進めています。

Q4 同じ中学校へ進学するのに、同じ小中一貫教育グループの小学校から進学する子どもとそうでない小学校から進学する子どもがいると、学習状況に差が生じてしまうのではないですか。

A4 各小学校の状況に応じた取組が行われますが、学習指導要領に準拠して小中一貫教育を進めますので、学習内容や進度に差は生じません。

ねりまの 小中一貫教育



授業改善による
**学力・体力
の向上**

連携指導による
**豊かな人間性・
社会性の育成**

滑らかな接続による
**安定した
学校生活**

練馬区の小中一貫教育校、全小・中学校では、上記の三つを小中一貫教育の目標とし、子どもたちの力を高めています。

令和2年度は、「小中一貫教育グループにおける『目指す15歳の姿』の明確化」「いじめや不登校等の防止など豊かな心の育成に向けた取組の実践・研究」を重点取組とし、9年間を見通した意図的・計画的指導の充実や、子どもの自己肯定感や学習意欲の向上を図っています。

練馬区教育委員会

小中一貫教育の取組

令和2年度は、次の2点に重点を置き、取組のさらなる推進を図ってきました。



練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」
© 練馬区

【重点取組1】 小中一貫教育グループにおける「目指す15歳の姿」の明確化

義務教育最終年15歳までに身に付けさせたい資質・能力を具体化し、9年間を見通した意図的・計画的な指導の充実を図っています。

合言葉で目標を共有化 大泉北中学校グループ (大泉北中学校・大泉第一小学校・大泉北小学校)

全学年の取組

- | 学習の合言葉 | 生活の合言葉 |
|--|--|
| 基礎基本をしっかり身に付けよう
進んで学習に取り組もう
家庭学習の習慣を身に付けよう | 元気なあいさつ、正しい言葉づかい
切り替えを大切に、やるときはやる
目と耳と心で話を聞こう
相手の気持ちを考えて行動しよう |

めざす15歳の姿

- ◇ 明るく、元気に、はつらつと
- ◇ 自分で考え行動する
- ◇ 夢や目標に向かって努力する

「学習」「生活」の合言葉を作成し、小・中学校で共有化しています。

自分たちの力で楽しい学校生活を創り出そう!

キャリア教育を柱に設定

貫井中学校グループ(貫井中学校・練馬第二小学校・練馬第三小学校)



職業体験学習・職業調べ発表の様子



「自分の生き方向上プロジェクト」
保護者による講話の様子

キャリア教育を柱に「目指す15歳の姿」に向かっています。

小学校第4学年～中学校第3学年の取組 「目指す15歳の姿」 学んだことを活用しながら、将来の進路開拓に進んでいける生徒

	貫井中学校	
中学校	第3学年	「自己実現と将来を考える、職業の理解」・主権者教育・進路選択決定
	第2学年	「職業体験」・職場体験学習
	第1学年	「将来を考える」・職業調べ発表・職業講話
		練馬第二小学校
小学校	第6学年	「中学生に向けて」 ・自分の将来の夢や希望についての表現活動
	第5学年	「最高学年に向けて」 ・「6年生を送る会」や「卒業式」での在校生代表としての表現活動
	第4学年	「10年後の自分へ」 ・大人になった自分について考え、手紙に記し、発表する表現活動
		練馬第三小学校
		「自分の生き方向上プロジェクト」 ・職業調べ・保護者による講話
		「もうすぐ6年生」 ・最高学年とは何かを考える。
		「自分CM」 ・自分の特徴を知り、未来を考える。

【重点取組2】 いじめや不登校等の防止など 豊かな心の育成に向けた取組の実践・研究

子どもたちに豊かな心を育む取組を重点とし、実践・研究を進め、いじめや不登校等の防止につなげています。

いじめ問題解消に向けた「思いやりの飛行機」の取組 石神井西中学校グループ (石神井西中学校・石神井西小学校・立野小学校・関町小学校)

全学年の取組

互いに励まし合う言葉について考えたり、触れたりすることでいじめ防止につなげる取組です。学校間での作品交流や動画紹介も行い、子どもたちのいじめ防止への意識が一層高まっています。

普段は恥ずかしくて言えないことも、こういう機会があって自分の気持ちを表すことができました。
(立野小学校 児童会役員)

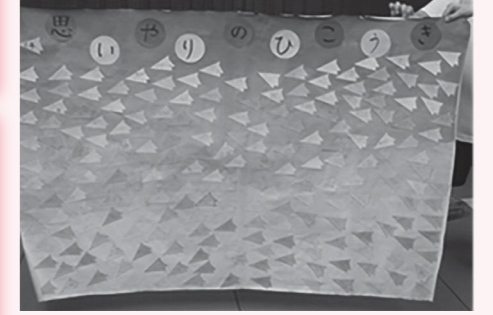
私は友達への感謝の気持ちを飛行機に書くだけでなく、それを実行し、もっと温かい気持ちを増やしていけるようにしたいです。
(石神井西小学校 児童会役員)

「いじめをなくすためには、『友達』の存在が大きい。コロナで改めて気付いた『友達』の大切さ。一人一人が『友達』を大切に作る学校をみさして!」このメッセージは私が一番心に残ったメッセージです。
(関町小学校 児童会役員)

- 「飛行機」は、離れていても届くもの、をイメージして決めました。直接交流できなくても、気持ちが届けばうれしいです。
- 小学校の時、児童会役員として「思いやりの木」に参加した時に、中学校の生徒会にあこがれをもっていただいたのを思い出しました。小学生の手本となるよう、これからもがんばります。
(石神井西中学校 生徒会役員)



児童会・生徒会役員が中心となり取り組んでいます。



令和2年度「思いやりの飛行機」

小中一貫教育校の 特色を生かした道徳授業

小中一貫教育校 大泉桜学園

第6学年・第9学年
(中学校第3学年)の取組



あなたが、手品師だったらどちらに行きますか?

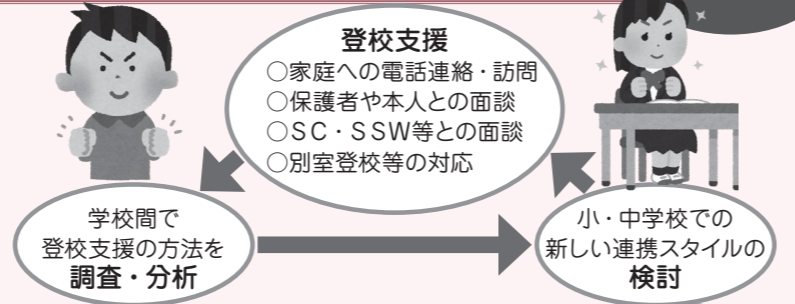
私は、男の子に会いに行きます。なぜならば...

第6学年と第9学年が教材「手品師」を通して「誠実さ」について学びました。発達段階の違う子ども同士の話合いにより互いの学びが深まりました。また、第9学年は、自分の成長を感じる場となりました。

子どもへの支援を充実させる取組

旭丘中学校グループ
(旭丘中学校・旭丘小学校・小竹小学校)

全学年の取組



- 登校支援
- 家庭への電話連絡・訪問
 - 保護者や本人との面談
 - SC・SSW等との面談
 - 別室登校等の対応

「生活アンケート」を毎月実施
子どもの悩み把握・相談環境づくり ▶ 子どもの「相談力」の高まり

学校間で登校支援方法を調査・分析し、登校支援のあり方や子どもの心に寄り添う取組について、小中学校での新たな連携スタイルを検討しています。
また、旭丘中学校では、「生活アンケート」を毎月実施し、生徒が悩みを教師に相談し、解決できる環境をつくっています。
これらの取組を小・中学校で充実させ、子どもが教師等に相談する力を高めていきます。

